道後温泉本館保存修理工事 大工工事

詳しい作業の様子は動画で公開しています

前期工事 平成31年1月15日～

神の湯浴室を男女に分けて営業

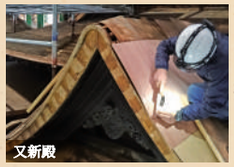
仮設間仕切設置工事

板塀解体工事

構造補強工事

鬼板製作工事

内壁設置工事



屋根合板張工事

後期工事 令和3年7月15日～

霊の湯男女浴室で営業

床板解体状況

屋根解体工事

構造補強工事

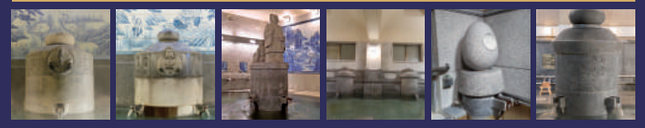
すだれ掛け設置工事

構造補強工事

床板設置工事

湯釜紹介

はじまりは奈良時代から使用されていたと伝わる道後温泉の石製の湯釜は他の温泉地では見られない独特の趣があり、道後温泉の魅力の一つです。現存する13の湯釜について、歴史的価値などを紹介していきます。



第10回 椿の湯（男子浴室）湯釜（ゆがま）

湯釜は直径120㎝、高さ280㎝で、上質の大島石（花崗岩）製です。男子浴室の湯釜には、正岡子規の俳句「十年の汗を　道後の　温泉に洗へ」が刻まれています。椿の湯の敷地には、明治25年から「松湯」と「薬湯」、大正11年からは「西湯」と「砂湯」、昭和28年からは「椿の湯」が建てられ、地域の公衆浴場として長く親しまれてきました。地元の風情が漂う外湯をお楽しみください。

文化庁

修理現場から 文化力 POWER OF CULTURE

■補助事業名／（重文）道後温泉本館神の湯本館ほか7棟建造物保存修理事業
■補助事業費／国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
■施工者／門屋組・成武建設・富士造型特定建設工事共同企業体　■監理者／文化財建造物保存技術協会

道後温泉本館は、霊の湯で入浴できます。

※神の湯（男・女）、2階・3階休憩室は休止しています。
※営業時間や入浴料など、詳しくは「道後温泉公式サイト」をご覧ください。

■お問い合わせ先
〒790-0842　松山市道後湯之町4番30号　道後温泉事務所　TEL.089-921-5141

［道後温泉公式サイト］
https://dogo.jp

愛媛 松山 道後温泉

歴史をつなぐ 未来へのこす

重要文化財 道後温泉本館 保存修理工事

第10号　令和6年（2024年）3月

道後温泉本館の紹介

修理中

神の湯本館

明治27年(1894)竣工。桟瓦及び銅板葺の木造3階建で、1階に浴場、2階・3階を休憩室とし、入母屋造の大屋根の上に塔屋を設けています。

又新殿・霊の湯棟

又新殿の観覧・浴室 営業中

明治32年(1899)竣工。日本唯一の皇室専用浴室のある又新殿・霊の湯棟は、銅板葺及び檜皮葺の木造3階建で、正面(東面)に御成門があります。(※1階で入浴できます)

浴室のみ 営業中

修理中

南　棟

大正13年(1924)竣工。養生湯として建築され、神の湯本館と同じく、桟瓦及び銅板葺。修理前は、神の湯女子浴室として使用していました。(※1階で入浴できます)

玄関棟

修理中

大正13年(1924)竣工。神の湯、霊の湯、養生湯の各浴室に入浴できるようにするため出札口として建設されました。昭和10年(1935)の神の湯を曳家した時に現在の玄関棟としての役割に変わりました。

明治27年(1894)の改築以降、大正、昭和、平成、そして令和、時代とともに輝き続ける道後温泉本館。営業しながらの重要文化財の公衆浴場の保存修理工事は、日本初の取組です。

素屋根工事

道後温泉本館保存修理工事を平成31年7月から令和5年12月に渡って風雨から守ってきた素屋根が役目を終え取り外されました。保存修理工事後の外観を是非お楽しみください。

前期工事

後期工事

夜間作業（西面）

夜間作業（東面）

【素屋根撤去工事の様子】

テント膜撤去

スライド

フレーム解体

解体完了

人がつなぐ 担当者の声【大工】

Q. 道後温泉本館保存修理工事に携わって感じたことは?

道後温泉本館の工事が残り一年をきりました。今回の工事は、道後温泉を営業しながらの保存修理工事でした。保存修理では、古材の再利用や補修、取替の判断を話し合う所からはじまります。今回使用した木材の栂とブナ(玄関棟の床材)は、現在では流通量が少なく高価なため調達にとても苦労しました。一番大変だったのは、木材の腐食が激しく、埋木や矧ぎ木する必要が多かった点です。埋木は技術と経験が必要で、木材の種類や形状、組み合わせ方を考慮しながら正確な寸法で木材を成形し、欠けた箇所に埋め込んでいく必要があり苦労しました。

文化財建造物は当初材を傷つけずに現況と同じように復旧することが大切で、明治27年に建築した大工の坂本文八郎に恥じぬよう施工しました。これから次の世代に引き継いでほしいです。

振鷺閣:袴板修理状況

村上工務店株式会社
棟梁 **村上　義浩さん**

詳しい作業の様子は動画で公開しています

道後温泉本館保存修理工事の進捗状況（令和6年3月時点）

神の湯浴室

中央廊下

神の湯2階休憩室

神の湯3階個室

振鷺閣

◆道後温泉本館は2019年1月15日から保存修理工事に入り、2024年7月11日より営業再開予定。保存修理工事後の道後温泉本館を是非お楽しみください。